

# 新入職の紹介

伊豆函南病院には毎年たくさんの職員が入職しております。今回は代表3人の新入職員を御紹介させていただきます。来院時等、お目にかからせていただく職員もいるかと思います。その際はぜひ、よろしくお願ひいたします。

こんなこと聞いてみました！

- ①趣味・特技
- ②好きな食べ物とその良さは？
- ③入職後の感想
- ④私が行っているストレス発散法
- ⑤最後に一言！



2北病棟看護スタッフ 鈴木里梨子



4階病棟ケアスタッフ 宮本美夢



地域連携室 山元 恵

- ①映画鑑賞、漫画を読むことです。
- ②餃子です。焼きたてを食べて肉汁がジュワっと出る感じが好きです。
- ③職員の皆さんの雰囲気明るく、優しく丁寧に教えて頂き、暖かい職場だと感じました。
- ④友達とご飯に行ったりたくさん話したり、カラオケで好きなアイドルの楽曲を全力で歌ったりしています。
- ⑤ご迷惑をおかけする事も多いと思いますが一日でも早く力になれるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。

- ①絵を描く事です。
- ②キャラメル。小さくて手軽に食べる事が出来、1つでも十分に満腹感を得られるからです。
- ③上司や先輩の皆さんに優しく教えて頂き、早くに馴染むことが出来たと思います。
- ④人と話すことです。
- ⑤まだまだ至らぬ点も多くあると思いますが、日々精進してまいりますので暖かく見守っていただけると幸いです。

- ①邦楽ロック、ライブ、写真、カフェ、漫画、アニメ、ヨガ、酵素風呂。
- ②じゃがいも。どんな調理方法でも最高においしく仕上がる。
- ③入職してもうすぐ1年が経ち、少しずつ職場や仕事に慣れてきました。
- ④鍼灸院やマッサージに行き、癒される。
- ⑤まだまだ不慣れな事も多いので、教えていただけると助かります。よろしくお願ひします。



## 編集後記

2019年より創刊したIZUKANもVol.7を迎えました。今号は連携をテーマとし、法人内でのスムーズで深い支援について知って頂けたらと思ひ企画致しました。今後とも当院をよろしくお願ひ致します。

地域連携室 矢部



おしらせ

## Information 外来診療体制変更のお知らせ

平素より、当院の運営にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。この度当院では、令和5年4月以降の外来診療体制を以下のとおり変更させていただくことになりました。診療体制の変更に伴い患者様、ご家族様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

外来診療(再診)	日	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	休	大友	木村	伊原	川口	鈴木	加茂・大友
13:30~15:00	診	前田(要予約)	-	-	-	-	大友

- 午後診療につきまして、原則「院外処方」
- 受付時間：午前 9:00～ 11:00 午後 9:00～ 15:00(月土を一部変更)

医療法人 新光会  
伊豆函南病院

〒419-0107 静岡県田方郡函南町平井1694番地  
TEL 055-974-0121 FAX 055-974-1503  
発行元：地域連携室 <http://izukannami-hp.jp/>



伊豆函南病院広報誌

# IZUKAN

Public relations magazine of Izu Kannami hospital

No.07  
Mar 2023

発行元：医療法人新光会  
伊豆函南病院  
問合せ先：地域連携室  
TEL：055-974-0121

あたま・かんなみ  
訪問看護ステーション  
佐々木所長

伊豆函南病院/地域連携室  
大谷主任

サニープレイスカンナミ  
石田施設長

特集 テーマは連携！  
伊豆函南病院と法人内機関の強い絆を調査！

contents

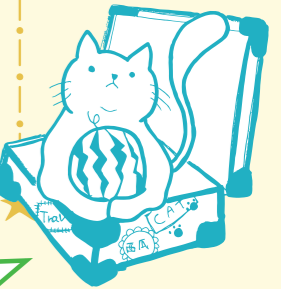
- 掲 載 内 容

- 特集  
テーマは連携！  
伊豆函南病院と法人内機関の強い絆を調査！
- すいかねこの函南病院探訪  
イケメン敏腕リクレーター磯貝さんの素顔に密着編
  - 集まれ！おじさん職員の森☆
  - 新入職員のご紹介
  - 編集後記
  - 事務所からのお知らせ

## すいかねこから

段々と寒さが和らいで、時々桜も見かけるようになりましたね。皆様お元気に過ごされていますか？僕はお天気の日に桜を見ながら甘いお汁粉を飲んでほっこりしたい今日この頃。日光を20分浴びるとビタミンDが作られて、免疫を上げる作用があるらしいですよ。元気になる花粉症にも負けたくない体を作りたいな。ではでは、今号のIZUKANもよろしくお願ひします！





# すいかねこの 函南病院探訪

## イケメン敏腕リクルーター職員さんの素顔に密着!



すいかねこ: こんにちは! すいかねこと申します。いやあ、噂通り、イケメンですね!

磯貝: 総務課の職員です。ちょっと照れますね(笑) そんな事ないですよ~(笑)

すいかねこ: 今日はよろしくお願いします。まず職員さんは普段どんなお仕事をされているんですか?

磯貝: 総務課では、病院運営の補助、職員の皆さんがお仕事をしやすいよう、幅広くサポートを行っています。中でも私は人事・労務に関するお仕事を中心にさせて頂いています。

すいかねこ: なるほど。職員の間でも、困ったら職員さんにまず相談、みたいな。とにかくとても相談しやすいという評判をお聞きしました。

磯貝: そう言っていたら嬉しいですね! 幸いにも職員の皆さんが協力してくださるおかげで私も皆様に安心してお仕事が出来るよう日々取り組んでおります。自分のためではなく相手のために考え、動く事は苦勞する点もありますが、大きなやりがいも感じています。



すいかねこ: 一人一人の働き方に対する価値観はみんな違いますよね。大変ご苦勞なさっているのだと思います。では、お仕事で大活躍の職員さんのプライベートはどんな感じですか?

磯貝: 私事ですが、昨年の4月に双子の赤ちゃんが産まれて。

すいかねこ: おお! それは素敵ですね!!

磯貝: 趣味の時間は子どもとの時間へ、同時に自分の生きがいにも変わりました。休日は出来る限り家族サービスをし、家族が寝静まった頃自分の趣味をする事が多いです。ほとんどの日は、疲れ果てて寝落ちしますが... (笑) そんな充実した日々を送っています!

すいかねこ: 忙しくも充実した日々を送っているんですね。ではこれから伊豆函南病院に入職される方々にぜひメッセージをお願いします。

すいかねこ: お願い致します。

磯貝: 入職者の方が最初にお会いするのは私かと思います。私自身も入職時にはなにもわからず不安な気持ちでいっぱいでした。そんな気持ちを解消できるよう、積極的にコミュニケーションを取りに行きますので、今後ともよろしくお願い致します!

すいかねこ: 今日はありがとうございました!



### 集まれ! おじさん職員の森

才能がなくても楽しめれば、幸せ、というお話。

私に才能はない。小学校低学年の時にキヤブテン翼の影響でサッカーを始めるも下手クソ過ぎていじめられた結果、退団に追い込まれる。中学時代はスラムダンクの影響でバスケットに入るも、出場したほぼ全ての試合で5ファウル退場。大学卒業後はメタルバンドで世界征服してやると就職もせずバンド活動したがアンダーグラウンドシーンの片隅の星の数ほどもないメタルバンドの1つにしかかなりえなかった。

どれも特に実を結んだものはない。しかし今でも少しはサッカーやバスケットの話もできるし、今でもギターを弾いて仲間たちとライブ(ソロ)で無沙汰や、妻のお腹にいる我が子にギターを聴かせることもできている。

私が言っても全く説得力はないが、何かをするのに才能や成功、最近でいうところの多くの他者承認よりも、自分が楽しめているかどうかのほうが大切ではないだろうか。それらを求めること自体、悪いことではない。しかしそれらを追い求め、固執していくと、いつしかそれらの奴隷になってしまう。そして自分の好きなことや楽しみ、幸せとは一体何だったのか分からなくなってしまう。それはとても不幸だ。そう考えると、こうして今でも好きで楽しく続けられている、やらせてもらっているという事は、とてもとても幸せなことではないだろうか。たとえ特別な成績や結果を残せなくてもいい、何をすることも大切なのは、自分自身が楽しいか、自分は幸せか。自戒も込めて。

リハビリテーション科 K

# テーマは『連携』! 法人内の機関はどんな繋がりがあるのか!



### 関係のある、お三方に話を聞いた!

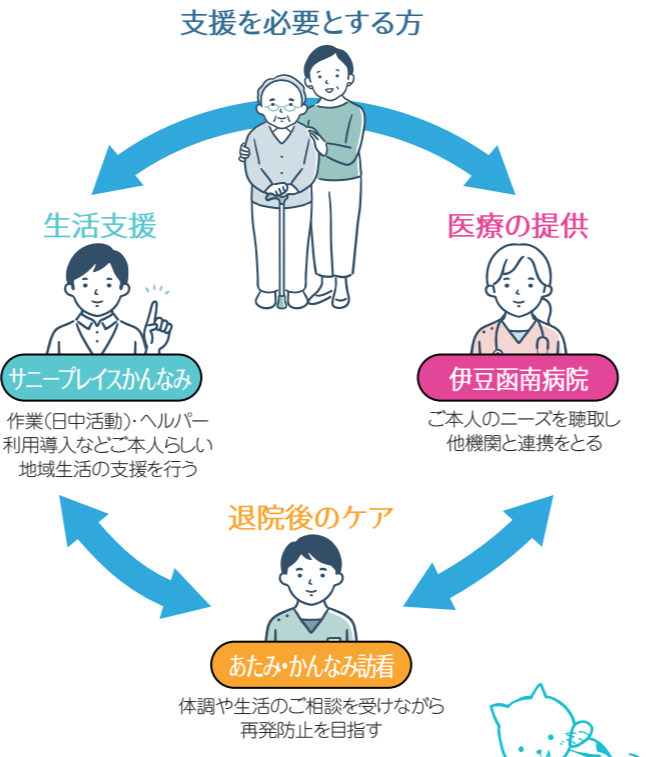
すいかねこ(以下すいかねこ)は、はじめましてすいかねこです。今日は伊豆函南病院とは切り離すことと出来ない法人内の方々に集まっていただき、また、よろしくお願いいたします。

石田: サニープレイスカンナミ(以下石田)です。サービスマネジメントとして障害福祉サービスを利用しながら地域で生活をされている方々に対し、個別支援計画の作成や他職員への助言・関係機関との連携を行っています。

佐々木: あたみかんみ訪問看護ステーション(以下佐々木)です。訪問看護師です。利用者様のご自宅でのケア、自宅退院をする方々に必要な処置の検討、医療資源の確保に向けての相談を支援者として行っています。

大谷: 大谷です。精神保健福祉士として、入退院に関する支援や受診へ繋がるまでの相談、必要な医療が必要な方に届く様に地域へ向けて様々な発信を行っています。

佐々木: 私は元々病棟のナースをしていた事もあり地域交流の経験が少なかつたんですね。なのでご本人・ご家族・支援者の方々の関係構築などは悩みながらもやりがいを感じます。



石田: アセスメントを通じて利用者様の課題やニーズを整理し、その目標が達成された時やそのプロセスを見ている時にやりがいを感じます。苦勞は苦勞と思つた瞬間に苦勞になるので思わないようにしています(笑)

大谷: 確かに。名言ですね。

すいかねこ: 仕事の内容はそれぞれ違いますが、連携しているなあと感じる瞬間はありますか?

大谷: 私達は病院の中で患者様を支援することが多いですが、皆さんとお仕事をさせていただくと、通所先や生活場面の様子を知る事ができます。その方らしい生活を送っていただくための大きな手掛かりになりますよね。連携無しにこの仕事は成り立たないですよ。一人の利用者様をチームで支援しているという意識を常に持っています。

石田: なるほど。最後に今後への期待はありますか?

石田: 同じ法人内だとスピード感のある支援や多少の無理なお願いも相談しあう事が出来たり



サニープレイスカンナミ 石田施設長、あたみかんみ訪問看護ステーション 佐々木所長、伊豆函南病院/地域連携室 大谷主任

するんですよ(笑) ありがたい事です。ただこれが他法人となると、より良いチーム支援をするための顔の見える関係作りが必要となるので自ら集まりの場に足を運び関係性を深めていきたいですね。

佐々木: タイムリーな情報交換は大切だと思います。その都度体調に変化があった時の支援方法を明確に出来るれば、利用者様の安心感に繋がります。新光会と継続して関わりたいと思つていただけているのではないかと、思います。

大谷: 連携会議などを通してそれぞれの得意分野を共有するとその方への適切な支援が出来ますよね。自分達がその歯車の一つとして動けるよう、自らコミュニケーションをとって行きたいです。

すいかねこ: 今日はありがとうございました!